

謹賀新年

12月15日 白沢海岸

2019年がいい年でありますように
皆さまのご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りします

きていく、生命を大切に、丁寧に日々を過ごしていく、そういう思いを育める事業にしていけたら幸せなまちづくりに繋がっていくのではないかと考えています。市民の皆さまにもご協力をいただきながら、市制70周年を盛り上げていきたいと思えます。国際芸術賞展期間中の8月には、恒例の「さつま黒潮『きばらん海』枕崎港まつり」があります。今年も三尺玉の花火を打ち上げる予定です。市制70周年の今年の夏は、多くのお客さまをここ枕崎にお迎えして、市民あがての温かなおもてなしをしたしたいと思います。

さて、市政に目を向けますと、今年もさまざまな課題に取り組まなければなりません。本市の人口は21000人余りで急速な少子高齢化が進行しています。水産加工業、焼酎製造業、水産業、農業などの本市の屋台骨を支える産業は、それぞれの努力により活性化に取り組んでおりますが、労働力の不足や後継者問題など多くの課題も抱えております。教育や子育て

新年明けましておめでとうございます。新しい年が穏やかで、市民の皆さまにとって幸多き年であることをお祈り申し上げます。

今年、平成の元号が4月で終わり、5月から新しい元号の元年となります。そしてその新元号の元年、枕崎市は市制施行70周年の記念の年を迎えます。これまで、先輩方が作り上げてこられた枕崎市の歴史をさらに前へ進めていく新元号元年となります。9月には市制施行70周年記念式典を予定しております。また、7月21日から9月16

日までの夏休み期間を含む58日間の日程で「第2回枕崎国際芸術賞展」を70周年記念事業として開催します。第1回に引き続き、千住博氏をはじめとした国際的な審査員を迎え、広く国内外の作家の平面、立体の作品を募集する国際公募展となります。そのほかにも、70周年の記念事業をいくつか計画しております。この70周年のそれぞれの事業について「生命(いのち)」というテーマを掲げて実行していくと計画しています。子どもから高齢者まで、一人ひとりがしっかりと生命に向き合って生



枕崎市長
前田 祝成